

主催：先導物質化学研究所／共催：精密有機合成化学リサーチコア

目で見える有機分子の動き

— ナノチューブに発する新しい化学物理学の世界 —

中村 栄一 教授

(東京大学大学院理学系研究科)

(九州大学先導物質化学研究所客員)

日時：2010年2月22日(月) 午後3時30分より

会場：理学部化学第1講義室

(箱崎キャンパス理学部2号館3階2349室)

中村先生は理論化学、有機合成化学、構造有機化学など多岐にわたる研究で顕著な成果を挙げておられ、有機化学分野の世界的トップランナーとしてご活躍です。最近ではカーボンナノチューブに閉じ込めた1分子の動きを電子顕微鏡で観察することに成功するという画期的な結果を報告されました。本講演では、これらの研究に関する経緯と最新の成果を中心にご講演いただく予定です。

多数ご来聴くださいますよう案内申し上げます。

講演内容：「目では見えないものを見たい。」これは古来からの人類の夢です。我々は最近オングストロームサイズの小さな有機分子の動きを透過型電子顕微鏡で観察することに世界で初めて成功しました。16世紀末の顕微鏡や望遠鏡の発明は生物学や天文学に一大変革をもたらしました。果たして21世紀の化学は電子顕微鏡を使って勉強し、研究するものとなるのでしょうか。

連絡先：九州大学先導物質化学研究所

稲永純二 (電話 642-2733, inanaga@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp)

古野裕史 (電話 642-2734, furuno@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp)